

学びに向かう力を育てよう

校長 新村 紀昭

先週11日(月)から学年ごとに新しい学習課題を配布して、1週間が経ちました。また、ホームページを使って、課題に取り組むヒントやアドバイスを送信していますが、視聴することはできていますか。また、今回は、「自分で作る時間割表」を配布しましたが、作成し活用していますか。

皆さんも知っているように新型コロナウイルス禍(「禍」は災いという意味)によって、私たちの生活は一変し、「三密を避けて行動する」などの「新しい生活様式(生活の型)」ということが言われています。このことは学校生活にも深くかかわり、学校が再開した際には、「三密を避ける」はもちろん「こまめな手洗い」「咳エチケットの徹底」「こまめな換気」がまず求められています。毎日、ハンカチや小タオルとマスクは欠かせないアイテムになります。もう、今までのような学校生活の型に戻ることはできません。

そして、このことは学習方法にも大きな変化をもたらしつつあります。先週からホームページを活用して始めたインターネット教材の紹介や学習課題、学習動画の配信など、ICT(情報通信技術、パソコンだけでなくタブレットやスマートフォンを使った情報通信技術)を活用した学習方法は、すでに全国で始まっています。皆さんの中には、「GIGA スクール構想」という、国の教育改革について知っている人もいると思いますが、この新型コロナウイルス禍を受けて、その準備が急速に進められているのです。

まだ先の話ですが、1人1台タブレットが支給されれば、皆さんの学習方法もこれまでの「先生から一斉に同じように教えてもらう型」から、「それぞれが自分のタブレットを活用し、自分で学習を進める型」へと少しずつ変化していくでしょう。もちろん今まで通り、各教科の先生は教室で基本的な必要な知識や問題の解き方、正解なども説明しますが、ある情報を基に、自分で調べたり、解き方を考えたり、興味をもった問題を追究(探究)したりする授業も増えるでしょう。新学習指導要領では、今回のコロナ禍で経験しているような、予測困難な社会の変化に対して、主体的に自分の能力や感性を生かして、社会や人生をよりよいものにしていく力を身に付けることがより一層求められています。知識や考え方を身に付けるだけでなく、身に付けた能力を使って、未知の課題・問題にも積極的に取り組み、解決策をまとめる力が求められるのです。

生徒の皆さんは、こうした学習方法の準備として、「自分で作る時間割表」を活用し、「学びに向かう力」を少しずつ身に付けてほしいです。作成例としては、学校の時間割表を参考に、5日間の中に5教科を2時間ずつ、実技教科を1時間ずつ入れ、課題一覧の右側の「進め方の目安」に記された1週間分の内容を割り当てる等です。まずは自分の力で計画を立てて実行してみることが大切です。先生方も、ICT機器を使って資料や動画の作成や配信、再開後の授業準備に取り組んでいます。課題に取り組んで分からないことや自宅でICT機器が自由に使えない場合は学校に連絡してください。

実際の授業では、皆さんが予習してきたことを確認しながら進めていきます。授業についていけないか不安を感じている生徒もいるようですが、まずは課題にしっかりと取り組みましょう。

健康に留意し、意識的に運動もするようにしましょう。

◆新しい生活様式(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

◆GIGA スクール構想の実現について(文部科学省)

https://www.mext.go.jp/a_menu/other/index_00001.htm